

平成30年度第2回 佐久市立図書館協議会 会議録

日時：平成31年3月20（水）

午後3時30分から

場所：佐久市立中央図書館視聴覚室

委員出席人数 5名

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 教育長あいさつ
- 4 会議事項（事務局説明、質疑、意見等要約）

(1) 平成30年度 佐久市立図書館事業経過報告について

平成30年度佐久市立図書館事業経過報告について事務局より説明

(2) 平成31年度 佐久市立図書館事業方針（案）、事業計画（案）について

平成31年度佐久市立図書館事業方針(案)、事業計画(案)について事務局より説明

委員：「夏休みワクワク子ども実験室」は好評だったようだが、各小学校を回る予定はあるか。

事務局：本年度は高瀬小学校で実施したが、平成31年度は泉小学校での実施を予定している。その後も各小学校を回って実施する予定。

委員：近年、夏休みの長期化で家にいる子どもも多いと聞く。夏場はサマータイム図書館で、朝8時半から開館している。家でゲームをするより、「夏休みワクワク子ども実験室」に参加したり図書館で過ごしたりしてもらいたい。

委員：資料9ページ目、臼田中学校と浅科中学校の職場体験は実施されなかったのか。

事務局：臼田中学校、浅科中学校とも学校側の希望日が図書館の休館日と重なってしまった。学校行事のため別日というわけにいかず、本年度は実施できなかった。

委員：子どもたちには、なるべく体験に基づいた理解の機会を与えたい。

委員：資料15ページ目、中央図書館の高齢者に対する音訳サービスとは具体的にどんなサービスか。

事務局：主に DAISY 図書の利用促進を図っている。音訳サービスは、視覚障害のある方だけでなく、小さな活字が読みにくくなってきたご高齢の方にも広く利用していただきたい。

委員：DAISY 資料の作成には音読者養成講座の受講者が携わっているが、講座卒業生の活躍の場が広がると良い。

委員：高齢者福祉施設等に出向いて、音訳サービスを提供してはどうか。

事務局：音読者養成講座の卒業生の中には、音訳以外にも高齢者福祉施設等へ出向いて読み聞かせ等を行っている方もいる。図書館としても、講座卒業生の活動支援を継続していく。

(3) その他

・佐久市の図書館の未来を考える

平成 30 年度図書館協議会視察研修について事務局より報告

委員：視察研修に参加した。視察で見学した塩尻市立図書館は、新刊の背表紙コピーを掲示していてわかりやすかった。中央図書館の入り口にも新刊が置いてあるが、塩尻市立図書館を参考に貸出中のものもわかるような工夫が欲しい。また、シニアが図書館に行くきっかけとなるような公民館活動等があると良い。

委員：中央図書館は、築年数が長いようだが改築等の話は具体的にあるのか。

事務局：現在、話が出始めたところ。

委員：塩尻市立図書館は、本を読むだけでなく飲食ができて、世代を超えた利用者同士の交流が持てる場だった。改築等には、まずお金がかかる。どう集めて、利用者の声を取り入れるか。子どもからお年寄りまで安心して利用でき、コミュニケーションの場としても、新たな図書館が良い施設になると良い。

委員：小さな子どもだけでなく、中高生にも図書館を利用してもらいたい。野沢中学校区には図書館がない。中学生の行動範囲は主に学校区で、野沢会館の学習室は盛んに利用している様子。野沢会館の中に図書館があれば、学生の利用につながるのではないかと。

事務局：野沢会館は建て直しに際し、現在意見を公募している。そちらにも意見として提出をお願いしたい。

委員：最近の子どもは忙しく、自発的に図書館に行かない子どもも多い。学習や交流が目的だとしても、自分で出かけられる図書館があると良い。

委員 : 野沢会館の寒い廊下で勉強したり、交流したりしている子どもたちを見かける。あたたかくて広い学習室があり、飲食もできるスペースがあるような図書館があると良いと思う。

市内図書館施設の現状および今後の見通しについて事務局より説明

現在、中央図書館以外の市内図書館施設は全て複合施設の中にあり、今後はサービスの向上を目指して検討していきたい。

すぐに建て替えられるものではないが、中央図書館も市内文化館等との複合化も視野に入れ、色々な意見をあげていただきたい。

委員 : 今年度、地区の文化財を残すという公民館活動のモデル事業を実施した。図書館でも資料調査を行ったが、不足している資料もあった。実際に現物を見て、体験をすることが大切だと考えている。図書館でも、夏休み等に親子で参加できるような体験型の催しを検討してはどうか。

委員 : 図書館だけで開催するのではなく、他団体等と連携した幅広い事業の実施を検討してはどうか。臼田図書館で活動している「布子会」とは、どのような活動をしているのか。

事務局 : 「布子会」は布絵本を製作するボランティア団体。臼田図書館としては、月に1度活動場所として部屋を貸したり、布絵本の製作にかかわる著作権の許諾申請を行ったりしている。11月には、布子会が実施する手作り教室の参加者を募集している。布子会が制作した布絵本は、一部臼田図書館に寄贈していただいている。

委員 : さまざまな連携を取っていて良い。今後も継続してほしい。

5 閉会

終了：午後4時40分終了